

「やさしい日本語」とは

2023年2月15日

(公財) 箕面市国際交流協会 岩城あすか

「やさしい日本語」のつくりかた

「やさしい日本語」とは・・・

伝えたいメッセージが相手にちゃんと伝わる日本語。

①情報を絞る

- 必ず A4 サイズ 1 枚 (12 ポイントで 1000 字程度が目安) 以内に収める
- 伝えるメッセージを絞る (例: 「どんなときに手続が必要なのか」というメッセージ)
- メッセージを伝える相手は外国人住民に特定する
- 読み手目線で情報を整理し、優先順位の低い情報 (例: 根拠法令) は削除する
- 例が多数あるときは、1～3 つ程度に限定する

②どこに何が書いてあるかを分かりやすくレイアウトする

- メッセージの結論や一番伝えたい部分は文章の最初を書く
- 金額や時間、場所などの重要な情報は枠で囲うなど目立たせる工夫をする (ただし、1 つにしぼる)
- 絵、写真、図表などをつかう。(ただし、1 つにしぼる)
- ピクトグラムや表を活用する (ただし、イラストは国や地域によって解釈が異なる場合がある)
- 手順や長い解説などは番号をつける・対象を複数に分けるときの箇条書きにする
- 文書の流れを明確にする
- 読み手が本文と注釈とを区別できるよう、※などを活用して書き分ける
- イラストや表を活用する (ただし、イラストは国や地域によって解釈が異なる場合がある)
- 場所を示すときはできるだけ地図を載せる
- 関連した情報 (例: 書類名とダウンロードリンク) は同じ所にまとめて載せる

③文の硬さを取る

- 複雑な表現はポイントを整理して書き直す
- 名詞や複合名詞は文で表す (例: 水分補給⇒水を飲む)
- 抽象的な表現はせず、具体的に書く
- 文は話し言葉調の平易な表現にする
- です・ます調にする (×敬語、×方言)

④文章の作り方の工夫

- 重複は避ける
- 一文につき一つの意味にする
- 大切な言葉 (たとえば、「津波」など災害に関係ある言葉) はそのまま使用する。そのあとにやさしい言い方をそえる

例：余震(よしん) (あとから 来(く)る 地震(じしん))

○分ち書きにする。文節で区切って分ち書きにするが、「つなげる語群」はわからない。

例：× 気をつけて ください

○ 気をつけて ください

× 止まるかも しれません

○ 止まるかもしれません

○「類義語」は平易な一語に統一する(例:問い合わせる、相談する⇒聞く)

○擬音語・擬態語(オノマトペ)は、世間一般であり聞かないカタカナ語は使わない

○二重否定など、複雑な文法は使わない

例：×使わないというわけではありません

○使うことがあります

○国により制度が大きく異なるもの(教育制度)や日本独特の文化は説明を追加する

例：要介護認定＝どれくらい介護(生活の世話をすること)が必要か、みてもらうこと

○日本語特有の言い回しや言葉遣いをさける

○時間、年月日を表す方法に注意する(×元号、スラッシュ)

○文を短くする

○主語と述語は一組だけ。連帯修飾節は単純化する

例：×地震の揺れで亀裂が入ったりしている建物

○地震(じしん)で 壊れた(こわ)れた 建物(たてもの)

※一拍＝ひらがな一文字。1文は24拍～30拍まで。文節は10を目安に。

○動詞の名詞化はさける(例：×「揺れ」があった。○「揺れた」)

○カタカナ語、ローマ字はわかりにくい

○漢字は使用量に注意(1文に3～4字。ルビをつける。)

○何をしたらよいか言う(あいまいな表現は避ける)

例：× 頭部を守ってください

○ 帽子をかぶってください

○使役、受け身の表現は避ける

例：×田中さんは先生にほめられました。

○先生は 田中さんを ほめました。

×先生は生徒に教室を掃除させました。

○生徒は 教室を 掃除しました。

○文末表現はなるべく統一する

例：～することが できます、～することが できません、～てください など

○難しいことばをやさしいことばに(小学校1～2年生程度の語彙で)

【使える言葉を調べる方法】

①リーディングチュウ太

②「やさしい日本語」作成支援ソフト「やんしす」

※会話の場合の注意点

- 語彙が小学生レベルであっても、対等に、誠実に話す。(×赤ちゃん言葉)
- 意味がちがう言葉をさける (例: 失礼します→さようなら)
- ジェスチャーをいれる
- 一緒に行動してみせる (現物を見せる)
- ゆっくり、大きい声で、はっきり話す
- 相手が理解した確認する (目線や表情に注意)

※難しいことばをやさしいことばに (小学校1～2年生程度の語彙で)

だからといって、幼児相手のような語り掛けはNG

【使える言葉を調べる方法】

- ①リーディングチュウ太
- ②「やさしい日本語」作成支援ソフト「やんしす」

⑤外国人住民の視点を意識

- 外国人住民に向けた工夫をする
例: 本人認資料は、「在留カード」が「運転免許証」よりもわかりやすい
- 制度の説明をするときはメリットとデメリットを簡潔に伝える
- リンクを設定するときは漢字にルビが振ってあるページ先に限定してリンクを設定する
- るびふりアプリとともに伝える、Chrome ブラウザ拡張機能のインストールを案内する など

【まとめ】「やさしい日本語」とは・・・

これという正解はない (受け取る側がどんな人かによって変わる)

情報選択するため、すべての内容は伝えられない

→「圧倒的な立ち位置の差=非対称性がある」との意識を前提に

(=常に日本人と同等の情報が与えられていないことをどうとらえるか。)

参考サイト

- ・愛知県「やさしい日本語」の手引き ～外国人に伝わる日本語～
- ・横浜市「やさしい日本語」で伝える 分かりやすく 伝わりやすい日本語を目指して
- ・豊橋市「やさしい日本語」を使ってみよう！ ～外国人に分かりやすい・伝わりやすい日本語～
- ・弘前大学人文学部社会言語学研究室
- ・NHK「NEWS WEB EASY」
- ・日本語読解学習システム リーディング チュウ太
- ・やんしす (やさしい日本語防災システム)
- ・ひらひらのひらがなめがね (ルビうち)
- ・YOMO YOMO (ルビうち・音声) 以上